

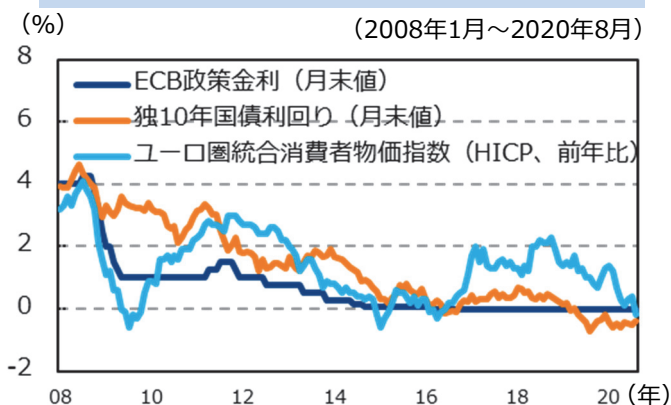
欧州マーケットビュー



- ユーロ圏の2020年4-6月期の実質GDP成長率は前期比▲12.1%となりました。マイナス幅は統計開始以降で最大となりましたが、地域内移動制限の段階的緩和を受けた企業景況感の改善や株価上昇などを背景に、足元の景気には回復の兆しが見られます。
- EU（欧州委員会）は財政ルール適用（財政赤字GDP比を3%以下にすることなど）を21年も見送ることを示唆しており、当面は拡張的な財政運営が続くと見込まれます。また、7月には復興基金（数年で7,500億ユーロの投資計画）で合意しており、景気の下支えが期待されます。

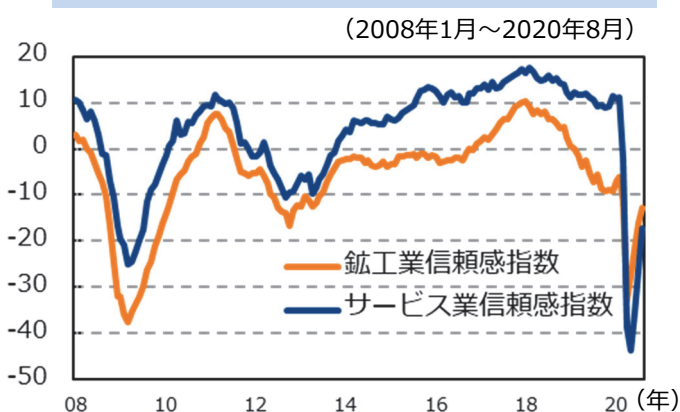
金利とインフレ率

8月のユーロ圏のHICPは2016年5月以来のマイナスでした。例年7月に実施されるサマーセールが8月にずれ込んだことなどが影響したとみられます。



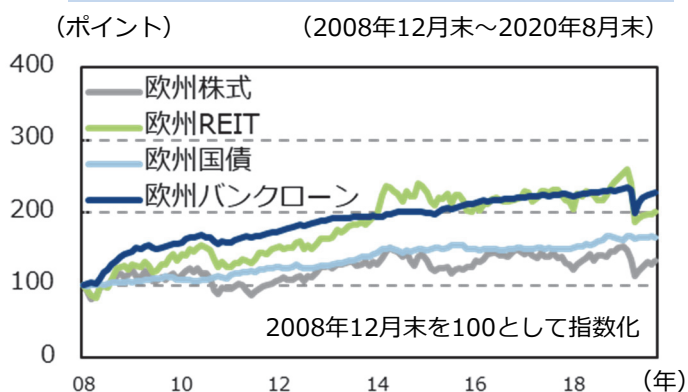
企業景況感

景況感は2020年3月以降、鉱工業、サービス業ともに大幅マイナスが続いていますが、足元のマイナス幅は縮小しています。



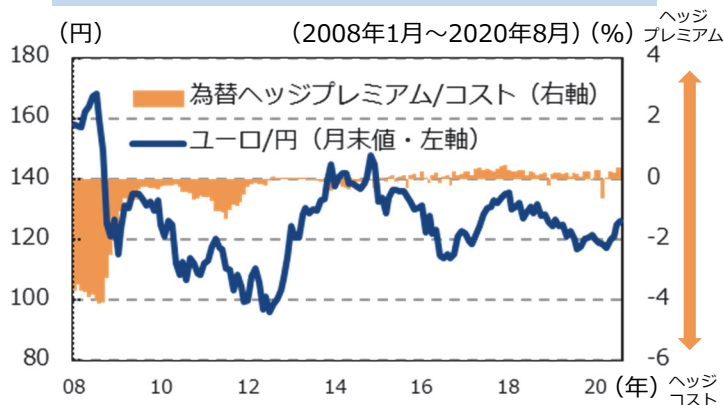
欧州各資産の推移

欧州各資産はコロナショックの影響から大幅な下落を余儀なくされましたが、足元では上昇しています。



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。（2020年8月：0.39%）



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

作成基準日：2020年9月2日